

報道機関各位

青森県健康福祉部保健衛生課長

食中毒の発生について

1 概要

- (1) 令和3年4月27日（火）午前8時30分頃、上北地域県民局地域健康福祉部保健総室（上十三保健所）に管内の医療機関から「4月26日（月）20時ごろ、スイセンをニラと間違えて喫食したことにより嘔吐を呈したと思われる患者が受診した。」との通報があった。
- (2) 同地域県民局の調査の結果、患者は、4月26日（月）に自宅の庭に自生していたスイセンをニラと誤認して採取し、夕食時に卵とじ煮として喫食し、約1時間後に発症していたことが判明した。
- (3) 同地域県民局では、患者が食べた植物がスイセンであったこと、患者の臨床症状が植物性自然毒によるものと一致していること、及び患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから食中毒と断定した。

- 2 発生年月日 令和3年4月26日（月）
- 3 喫食者数 1名
- 4 患者数 1名（入院：0名）

	計	90歳代
男	0(0)	
女	1(0)	1
計	1(0)	1

※患者は既に快復している。

- 5 主な症状 嘔吐、下痢
- 6 原因施設 家庭
- 7 原因食品 スイセン
- 8 病因物質 植物性自然毒

報道機関用提供資料 発表No. 3-2	
担当課・担当者	保健衛生課 食品衛生グループ 担当者 定総括主幹
電話番号	内線 6274/6275 直通 017-734-9214
報道監	健康福祉部 古川次長（内線6202）

<参考>

食中毒発生状況

	発生件数	患者数
令和 3年1月～4月27日	2件	11名
令和 2年1月～4月27日	3件	50名
令和 2年1月～12月末日	4件	51名

本年の発生件数、患者数は、本事件を含む。

<県民への呼びかけをお願いします>

本県でも山菜シーズンを迎え、有毒山野草の誤食による食中毒の発生が懸念されます。本県では、過去に、有毒の「トリカブト」を食用の「モミジガサ（別名：シドケ）」や「ニリンソウ」と、有毒の「スイセン」の葉を食用の「ニラ」と誤認して喫食した食中毒が発生しています。

有毒山野草の誤食による食中毒を防ぐため、次のことに気をつけましょう。

- ◇ 食用かどうか分からない植物は、①採らない、②食べない、③人にあげない、④産地直売施設等で販売しないでください。
- ◇ 有毒山野草の見分けは非常に難しく、簡単に見分ける方法はありません。食用の山野草でも有毒山野草と混生している場合もあります。山菜採りの経験者の方も油断せず、十分に注意してください。

有毒山野草や毒キノコによる食中毒においては、高齢者の方が有毒山野草や毒キノコを食用と誤認したことが原因となった事件が多く見られています。思い込みは禁物です。

青森県内における有毒山野草による食中毒件数（平成元年以降）

	事件数	患者数	備 考
平成29年	1	5	スイセンをニラと誤認
平成28年	1	3	スイセンをニラと誤認
平成26年	1	2	チョウセンアサガオをゴボウと誤認
平成20年	1	2	スイセンをニラと誤認
平成19年	1	2	スイセンをニラとして販売
平成18年	1	2	トリカブトをモミジガサ（シドケ）と誤認
平成17年	2	2	スイセンをニラと誤認
		6（1）	トリカブトをニリンソウと誤認
平成16年	1	1	トリカブトをニリンソウと誤認
平成12年	1	2	トリカブトをモミジガサ（シドケ）と誤認
平成11年	1	1	ドクゼリを食用と誤認
平成 7年	1	1	ザゼン草をウバユリ（通称ゆりこ）と誤認
平成 6年	1	2	チョウセンアサガオをモロヘイヤと誤認
平成 5年	1	8	トリカブトをモミジガサ（シドケ）と誤認
平成 元年	1	4	トリカブトをニリンソウと誤認

（ ）内は死者数